

日本共産党市川市議
団と岡田県議、浅野小
み子（党県女性部長）
は5月19日、保育園の
待機児童解消について、
新設園を認可すること
にあたつて十分調査す
ることや、県の予算で
県内の保育職員の待遇
で地域間格差を解消す
ることを求める要望書
を森田健作知事に提出。
そして担当職員に対し
て交渉しました。

の際現地調査を 保育園の申請

要望書は、①認可保
育所（園）の申請があ
た際、現地視察をし、
十分な聞き取りをあこ
なうこと。②保育士の
待遇改善、県の補助金
で地域間格差を是正す
ること。③認可保育所
(園)設置に関わる県
の予算を増やす。

保育園の待機児解消、保育士の待遇改善…



県担当者に要望書を渡す党市議団、岡田県議、浅野小み子氏



担当者は、保育園設
置も待機児童をゼロに
する取り組みも市町村
が主体との言い分で、
県は待機児ゼロへの目
標値をもつものの具体
策がないことが明らか
になりました。

待機児解消に 県も計画を

県内で待機児童数が
ワーストの市川市。保
育園整備で住民合意が
とれず、今春計画中止
となりテレビ・マスコ
ミでも大きく報道され
ました。

現地調査について県
は「市が主導者として
関与していく必要があ
る」と語り、あくまで
人ごと。県は、マスコ
ミ報道後も現地調査を
しなかつたことが明ら
かになりました。



市民広場が開放されたが…

行徳野鳥観察舎と保護区を視察



市議会議員有志8人
(共産5人)で5月13日、
休館中の行徳野鳥観察舎
を視察しました。

休館となつた建物に入
り、2・3階にあつて遠
鏡で保護区を観察。その
後友の会や県職員の案内
で保護区域を1時間ほど歩
き説明を受けました。カニや
とびはぜなど色々な生き物
に出会える貴重な自然です。
(写真上が観察舎、下が保護区)



県は廃止や市
への移行をもく
ろんでいますが
ぜひ、残してほ
しいものです。
2月市議会で観
察舎の存続を求
める意見書が可
決されています。

3年前、市民が市に寄付した宮久
保6丁目と下貝塚2丁目の土地（一
3000坪）。現在、朝から夕方ま
で市民広場として開放されています
が、いま一つ利用が少ないようです。
市民から「子どもの背丈まで草が
伸びていて遊べない」、また「トイ
レが必要」などの要望も寄せられて
います。

私は（金子）これまで市議会で市
民に喜ばれる土地の有効活用を要望
してきました。今後も要望してまい
ります。

